

戦争経験者の思い知りたい

中学2年8人 町長に学びテーマ報告

平和教育
広島体験研修

下諏訪町教育委員会は8月2日から1泊2日の日程で、町の中学生代表が広島市を訪問して戦争の悲惨さや原爆の恐ろしさなどを学ぶ「広島平和教育体験研修」を行う。

下諏訪中学校と下諏訪中学校の2年生8人が参加。研修を控えた8人が19日に町役場を訪れ、それぞれ研修での学びのテーマを宮坂徹町長に報告した。

研修は町の将来を担う若い世代に平和の尊さを学んでもらおうと、1999年度から毎年実施している。今年も平和記念公園を訪れ、両校の生徒で作った千羽鶴を奉納。広島平和記念資料館も見学し、被爆体験者の話を聞く。学んだ内容や感想は、8月15日に開かれる町主催の戦没者追悼式の会場で発表する。

生徒は一人ずつ「戦争を経験した人の思いを知りたい」「二度と戦争を起こさないために自分たちで何ができるかを考えたい」などと宮坂町長に報告。宮坂町長は「百聞は一見にしかず」という言葉がある。自分の目で確かめ、しっかり自身のテーマについて考えてきてください」と呼び掛けた。



一人ずつ宮坂町長に研修での学びのテーマを報告する生徒たち